

④ 脳幹

延髄、橋、中脳、間脳をまとめて脳幹という。

脳幹には、第Ⅰ(嗅神経)と第Ⅱ(視神経)脳神経を除くすべての脳神経の核が集まっている。

↑ 灰白質のかたまり

生命維持に不可欠な反射を含む多くの自律性および運動性の反射の中樞が密集している。

(延髄) → 脊髄から延びてきた部分。

橋 → 左右の大脳半球を連ねて橋のようにみえる部分

(中脳) → 橋と小脳の上方に続く狭い部分。

(上丘 --- 視覚に対する反射中枢)

(下丘 --- 聴覚に対する反射中枢)

背側面

間脳

(視床) と (視床下部) からなる。

視床 --- 卵形の大きな灰白質

嗅覚を除くすべての感覚が大脳へ

伝えられる途中でニューロンを変える場所。

視床下部 --- 自律神経の最高中枢

多くの異なる器官をある目的に向って協調的に統合

⑤ 小脳

橋と延髄の背側にあり、上面は大脳半球におおわれ、下面は延髄に入り込んでいる。

小脳中央のくびれた部分を(虫部)、両側の内みを毛った部分を(小脳半球)という。

小脳の機能 --- 協同運動の中樞

からだの平衡の保持と全身の骨格筋の緊張度の調整

